

令和2年8月21日現在

○2021年度 第3年次編入学試験 人文社会科学部

現在のところ、人文社会科学部第3年次編入学試験については、新型コロナウイルス感染予防対策を講じたうえで、募集要項に記載の方法で実施予定です。

必ずマスクを着用して受験してください。

試験方法等に変更がない場合、以下の方は受験できませんのでご了承ください。

- ・ 試験実施当日に37.5℃以上の熱がある方。（入室前に非接触型体温計で検温します。）
- ・ 新型コロナウイルス感染症が疑われる症状を自覚している方。（強いだるさ（倦怠感）、息苦しさ、のどが痛い、咳や痰が出る、味覚・嗅覚に異常がある等）
- ・ PCR検査で陽性と判定された方で、「判定日から10日間経過していない」あるいは、「症状軽快（注）後72時間経過していない」のいずれか一方でも該当する方。
（注）解熱剤を使用せずに解熱し、呼吸器症状が改善傾向である場合をいう
- ・ 試験実施日までに保健所等から濃厚接触者に該当するとされたが、PCR検査を未受診の者。
- ・ 学校保健安全法で出席停止が定められている感染症（インフルエンザ、麻しん、水痘、風疹等）に罹患し治癒していない方。
- ・ 外国から日本に入国し、2週間を経過していない方。

上記いずれの場合も追試等の特別措置、及び入学検定料の返還は行いません。

また、3密を避ける、マスク着用、手洗い、うがいの励行など、感染防止に十分注意して試験に臨んでください。

試験当日は、保護者等のための控室は準備いたしません。昼食等のために食堂は使用できません。

新型コロナウイルスの感染拡大等のため、対面での入試が実施できない場合は、下記のように試験方法を変更します。

この場合、試験実施日の2週間前までに選抜方法等の詳細をホームページにて告知します。

また、2週間前以降に状況が急変した場合は、遅くとも試験日の3日前までには、本学ホームページに公表しますので、必ず、最新情報を定期的に本学ホームページで確認してください。

対面での入試が実施できない場合の試験方法(入学者の選抜)

人文科学コース：書類審査（200点）

志願理由書等の出願書類の内容を総合して判定します。

国際社会コース：書類審査（100点）

志願理由書等の出願書類に加えて、追加の課題を課し、その提出物の内容も合わせて、総合的に判定します。なお、課題提出後、必要に応じてオンライン面談等の方法により提出物の内容について質問・確認を行う場合があります。

社会科学コース：書類審査及びオンライン面接の総合評価（200点）

書類審査は志願理由書を評価します。

オンライン面接は個人面接の方法で行います。

オンライン面談、オンライン面接は、Microsoft Teamsで行います。事前に以下の環境を準備いただきます。詳細は変更の際にホームページにてお知らせします。

- ・パソコン・タブレット・スマートフォン等（パソコンを推奨します。）

必要スペックは以下のアドレスを参照

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/hardware-requirements-for-the-teams-app>

- ・ネットワーク環境（安定したインターネット接続環境）
- ・マイク（PC内蔵のもので可）
- ・Webカメラ（PC内蔵のもので可）
- ・対応ブラウザは以下のアドレスから Web クライアントの項目をご確認ください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/microsoftteams/get-clients#web-client>

※ 通信にかかる費用は受験者負担となります。

※ オンラインで行うことになった場合、事前に接続テストを実施することがあります。接続テストについては別途お知らせします。

※ ネットワーク環境の準備等に関するご相談・ご質問は入試課（088-844-8154）までご連絡ください。